

手術件数とアウトカムの関係に関する外保連調査について（案）

【技術力に関する調査について】

（調査対象手術）

- 調査対象手術は、施設基準が設定されている115項目の手術とする。

（調査方法）

- 外保連に加盟している関係学会が、下記の調査内容に従って手術件数とアウトカムの関係に関するデータ収集を実施する。

（調査内容）

- 文献検索によるエビデンスの収集を行う。
 - ・ 文献検索は、少なくとも過去10年間の研究で、PubMed及び医学中央雑誌に掲載された論文について行う。
 - ・ 学会の手術委員は、文献検索に基づくサマリーを作成する。
- 平成15年度の1年間のカルテに基づき学会認定施設を対象とした調査を実施する。その際、以下のような点に留意する。【データレイアウトの案は別添の通り。】
 - ・ 個人情報の保護に配慮したデータ収集とし、基本的な分析も含めて各学会が実施することとするが、必要に応じて、手術の施設基準に関する作業班においてデータに基づく検証が行えるようにする。
 - ・ 調査対象病院は学会認定施設とするが、偏りがなく代表性があることを検証するためにその施設属性を明らかにする。
 - ・ 調査対象となった手術数の日本全体の手術数に占める割合を推計し、調査の範囲を把握する。
 - ・ アウトカムとして、手術の術式にかかわらない下記の共通指標と手術ごとに各学会が妥当と考える指標を把握する。

【共通指標】

- 術後在院日数、手術に従事した外科医の人数、死亡率（術中、入院中）、術中出血量、退院時転帰（全治、軽快、死亡、転院）、手術合併症（在院期間を延長させるような）の有無
- ・ リスク調整を行うためのデータについては、手術の術式にかかわらない下記の共通要因と、手術ごとに各学会が必要と考える要因（重症度等）を把握する。
 - 患者要因（年齢、性別）、医療従事者要因（手術を行った医師の経験年数）、施設要因（救急医療施設であるかどうか）

データレイアウト案

様式1 施設属性調査票

施設ID (2桁の都道府県番号+7桁の医療機関コード) 注)

施設名

施設所在地

様式2 患者別データ調査票

施設ID (2桁の都道府県番号+7桁の医療機関コード) 注)

術式名 (K番号)

患者番号 (術式別通し番号)

年齢 (〇〇才)

性別 (1. 男、2. 女)

執刀医の経験年数 (〇〇年)

術後在院日数 (〇〇日)

手術に従事した外科医 (執刀医を含む) の人数 (〇人)

手術時間 (〇〇〇分)

術中出血量 (〇〇〇グラム)

退院時転帰 (1. 全治、2. 軽快、3. 不変、4. 悪化、5. 死亡、6. その他)

退院先 (1. 自宅、2. 転院 (他病院・有床診療所)、3. その他 (社会福祉施設等))

手術合併症 (在院期間を延長させるような) の有無
(1. あり、2. なし、3. 不明)

注) 診療報酬請求上のコード